

# はじめに

全国に先駆けて高齢化の進んでいる島根県では、すべての県民が健康で明るく生きがいをもって生活できる社会の実現をめざして、平成11年度に「第一次健康長寿しまね推進計画（健康増進計画）」を策定し、「健康づくり」「生きがい活動」「要介護状態の予防」を3つの柱として、健康長寿日本一を目指に、様々な健康づくり活動や啓発運動を積極的に進めてまいりました。

この活動は、全県及び県下7つの圏域において、住民代表、関係者・団体、行政等の連携により組織された「健康長寿しまね推進会議」が中心となって展開しており、県民の健康づくり活動を後押ししながら、脳卒中や心臓病などの死亡率等の改善にも寄与してきたところです。

しかし、その一方で、将来を担う子どもや20～30歳代の若い世代の朝食の欠食をはじめとする食生活の乱れ、壮年期の運動不足や心の問題、高齢期の食事の摂取エネルギー不足、外出手段の確保や食材の購入確保などの新たな課題にも対応していく必要があります。

こうしたことを踏まえ、このたび、今後10年間の健康づくりの指針として「第二次健康長寿しまね推進計画」を策定しました。

本計画では、健康寿命の延伸を目指し、子どもの頃からの適切な生活習慣の確立、青壮年期の生活習慣病の一次予防、疾病の早期発見、合併症予防や重症化の防止、高齢者の社会参加等の生涯を通じた総合的な対策を、県民、関係機関・団体、行政が一体となり、地域ぐるみで進めていくこととしております。

県としても、子どもから高齢者まで全ての県民が、心と身体の健康づくりや生きがいづくり、社会活動をとおして、地域でのつながりを深め、健康でいきいきと生活できるよう一層推進してまいります。

終わりになりましたが、計画策定にあたり御協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

平成25年3月

島根県健康福祉部長 布野典男

